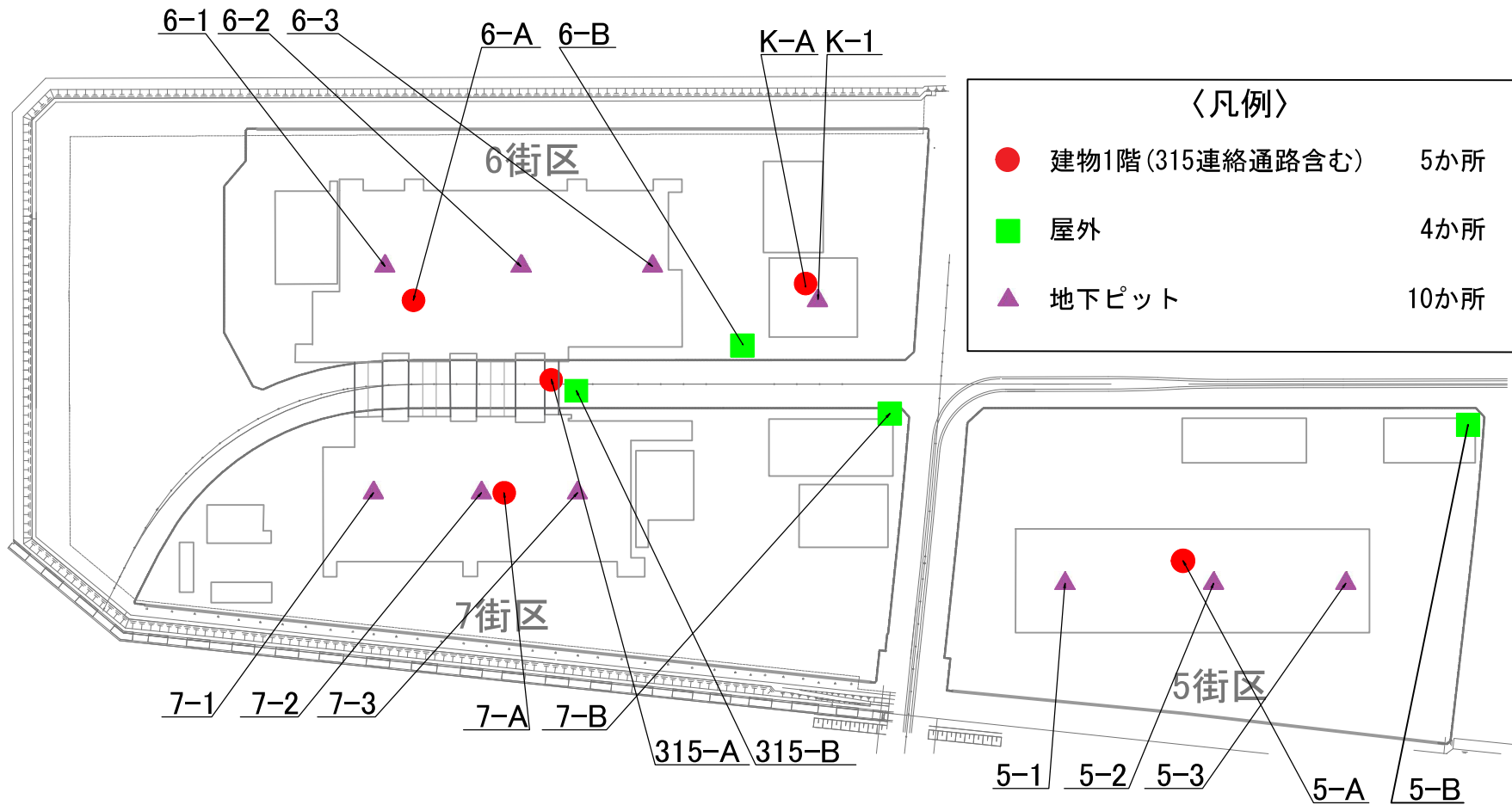


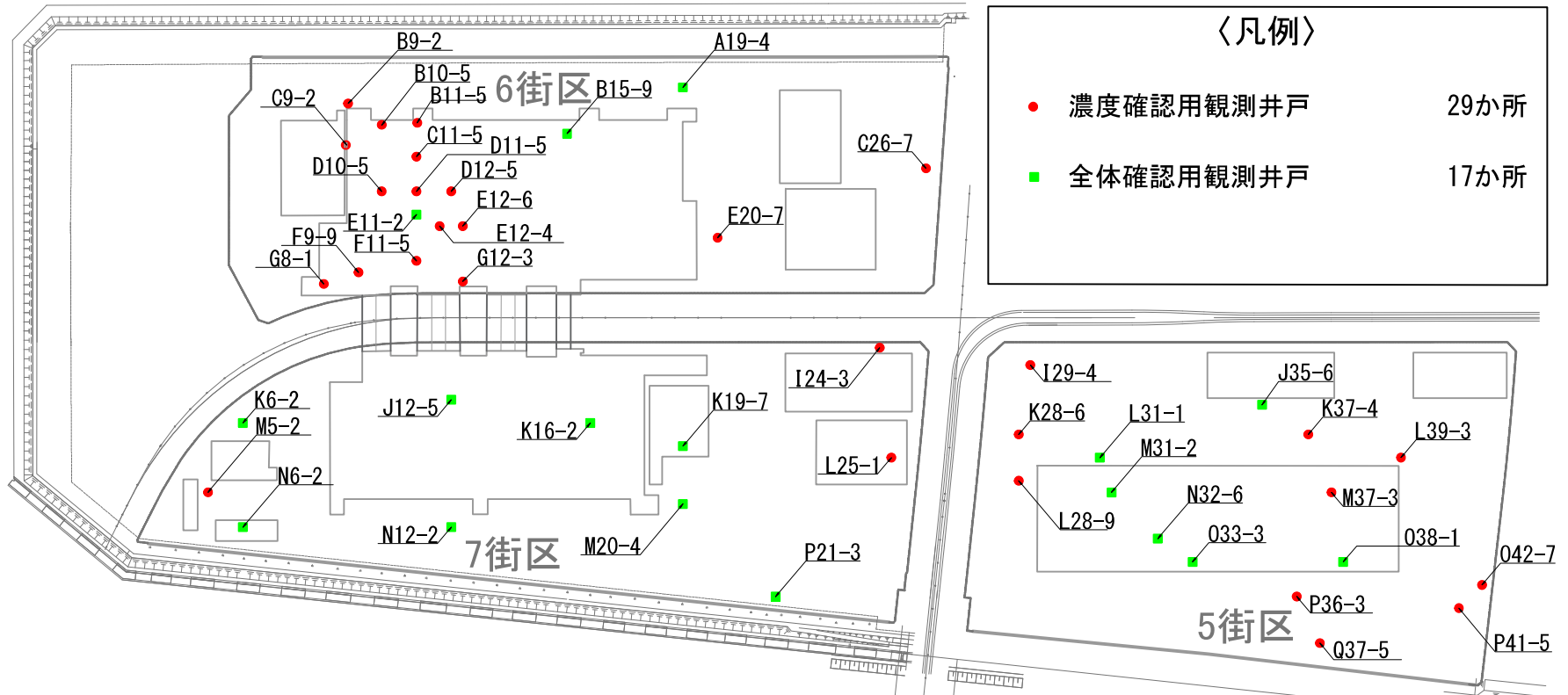
資料 2

空気・地下水質調査結果について

空気調査 測定箇所図



地下水質調査 測定箇所図



前回協議会での報告以降に実施した空気調査・地下水質調査の概要
(令和6年12月～令和7年11月測定分)

1 空気調査結果（毎月測定）

(1) 5街区

	単位	基準値等	建物1階	屋外	地下ピット
ベンゼン	mg/m ³	0.003（1年平均値）	0.0009 ^{**}	0.0010 ^{**}	0.0007 ^{**} ～0.0008 ^{**}
シアン	mg/m ³	0.003	不検出	不検出	不検出
水銀	μg/m ³	0.04（1年平均値）	不検出	不検出	0.004 ^{**}

(2) 6街区（加工パッケージ棟を含む）

	単位	基準値等	建物1階	屋外	地下ピット
ベンゼン	mg/m ³	0.003（1年平均値）	0.0009 ^{**} ～0.0010 ^{**}	0.0009 ^{**}	0.0007 ^{**} ～0.0009 ^{**}
シアン	mg/m ³	0.003	不検出	不検出	不検出
水銀	μg/m ³	0.04（1年平均値）	不検出	不検出	0.004 ^{**}

(3) 7街区（315号線下連絡通路を含む）

	単位	基準値等	建物1階	屋外	地下ピット
ベンゼン	mg/m ³	0.003（1年平均値）	0.0010 ^{**}	0.0009 ^{**} ～0.0010 ^{**}	0.0005 ^{**} ～0.0006 ^{**}
シアン	mg/m ³	0.003	不検出	不検出	不検出
水銀	μg/m ³	0.04（1年平均値）	不検出	不検出	0.004 ^{**}

注）空気調査の“不検出”は、定量下限値（ベンゼン：0.0003mg/m³、シアン：0.002mg/m³、水銀：0.004μg/m³）未満

※ 測定箇所毎の令和6年12月～令和7年11月測定値の平均値であり、不検出の場合は定量下限値に置き換えて算出

2 地下水質調査（3か月ごとに測定）

(1) 5街区

	単位	基準値等	濃度確認モニタリング	全体確認モニタリング
ベンゼン	mg/L	0.01	不検出～1.1	0.001～0.11
シアン	mg/L	検出されないこと	不検出～0.3	不検出～0.1
ヒ素	mg/L	0.01	—	0.009～0.023

(2) 6街区

	単位	基準値等	濃度確認モニタリング	全体確認モニタリング
ベンゼン	mg/L	0.01	不検出～0.30	0.034～0.039
シアン	mg/L	検出されないこと	不検出～1.1	0.4～0.7
ヒ素	mg/L	0.01	0.006～0.053	0.010～0.014

(3) 7街区

	単位	基準値等	濃度確認モニタリング	全体確認モニタリング
ベンゼン	mg/L	0.01	0.001～0.40	不検出～0.018
シアン	mg/L	検出されないこと	不検出～0.1	不検出～0.1
ヒ素	mg/L	0.01	0.004～0.007	0.002～0.077

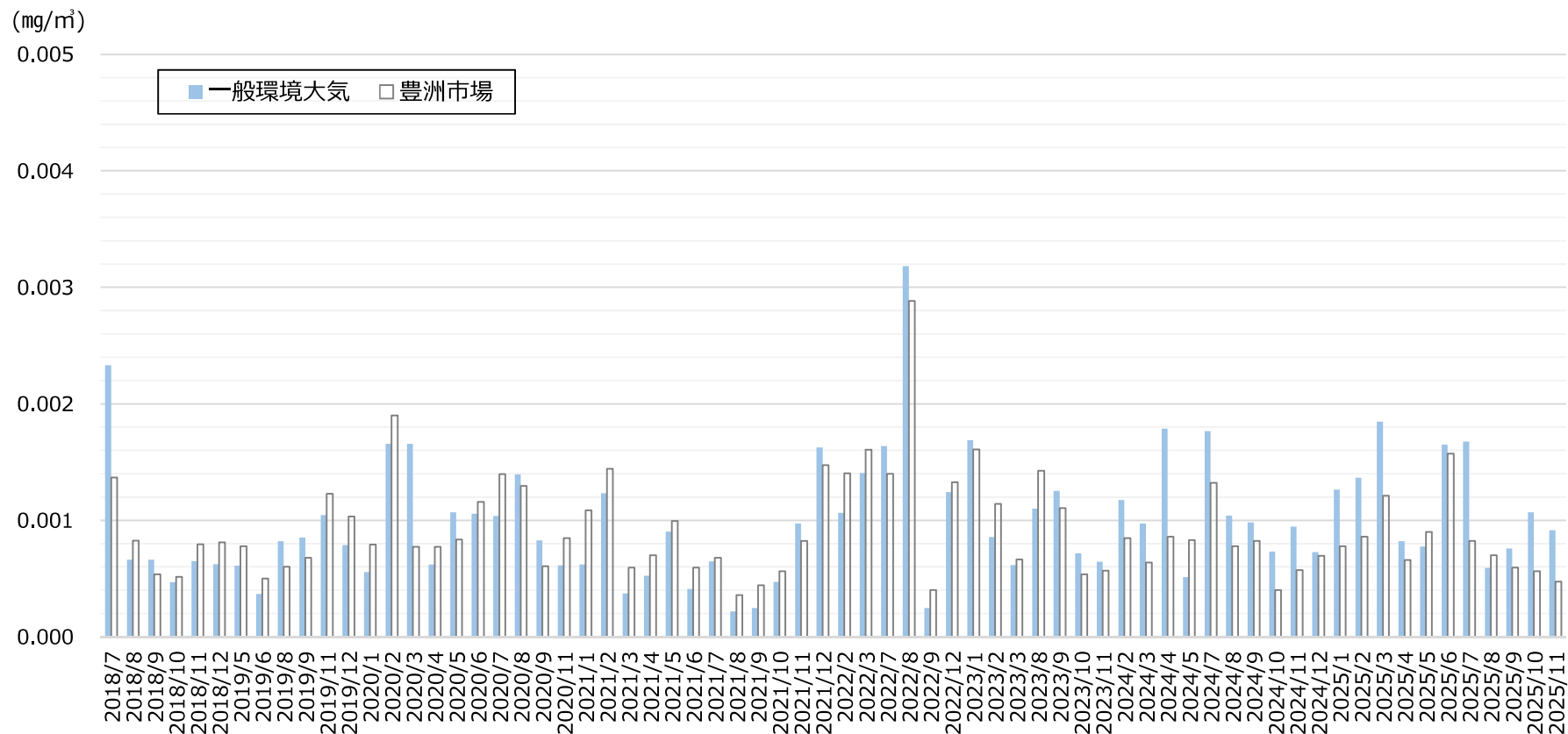
注）地下水質調査の“不検出”は、定量下限値（ベンゼン：0.001mg/L、シアン：0.1mg/L、ヒ素：0.001mg/L）未満

3 評価

- ・豊洲市場の地下水は、箇所により濃度が異なっている一方、空気中のベンゼン濃度は、建物1階、屋外、地下ピット内で同程度であり、地下水の濃度変動は空気測定結果に影響を与えていないものと考えられる。
- ・豊洲市場の空気中ベンゼン濃度と都から示された同一日時的一般環境大気中濃度（大気常時監視測定局）の比較結果を確認した結果、開場直後（平成30年11月）から、おおむね同じ動向を示していることが認められた。（別添資料参照）
- ・豊洲市場の空気は、継続して大気環境基準等に適合しており、科学的な視点から安全は確保された状態にあると考えられる。

豊洲市場の空気及び一般環境大気中のベンゼン濃度

別添



- 注1) 一般環境大気については、大気常時監視測定局測定データのうち豊洲市場と同じ時間帯で作成。2024年3月までは確定値、2024年4月以降は、暫定値であり、暫定値は精査の結果、変更となることがある。
- 注2) 豊洲市場については、建物1階、屋外、地下ピットの19か所平均であり、測定結果が不検出の場合、定量下限値 (0.0003mg/m³) に置き換えて作成
- 注3) 一般環境大気の測定値に欠測があった月については省略
- 注4) 2023年5月より、測定局の一部が移設となっている。